

2021 年度事業計画

自：2021 年 6 月 1 日 至：2022 年 5 月 31 日

情報収集と発信

- ◆「アクセシビリティ公演情報サイト」における観劇情報掲載
- ◆メルマガ配信『TA-net 通信 ～舞台からの香り～』『アクセシビリティ公演情報 ～観ゲキ！感ゲキ！～』
- ◆PR 活動 広告定期出稿 2 件（特定非営利活動法人 東京都中途失聴・難聴者協会 / しかく）

◆講演・講座依頼 オンラインでの講演依頼も承っております！

- ・2021 年 9 月 1 日（水）観劇サポート講座 聴覚障害者お迎え編 あうるすぽっと
- ・2021 年 9 月 アートファーム岡山
- ・2021 年 10 月 2 日 千葉市文化振興財団
- ・2021 年 11 月 4 日（木）昼・夜 文京区手話講習会
- ・2021 年 11 月頃 立教大学
- ・2021 年 12 月～2022 年 1 月 金沢 21 世紀美術館
みんなの美術館 みんなと美術館～来館しやすさと楽しさを考える 10 のレッスン
[レッスン 8 - 9] 字幕や手話付き動画で「10 のレッスン」を紹介しよう

◆研究発表

- ・第 19 回日本手話通訳学会（オンライン視聴期間：2021 年 6 月 21 日～7 月 20 日）にて
国立筑波技術大学 助教 萩原彩子氏と共同発表「舞台手話通訳における適切な価格の予備的検討」

◆委員・会議出席依頼

- ・社会福祉法人大阪障害者自立支援協会
「障害者の舞台芸術表現・鑑賞支援プラットフォームの構築に向けて」委員（廣川）
- ・全日本ろうあ連盟 2018-2021 教育文化委員 / 季刊みみ編集委員（廣川）
- ・公文協 コーディネーター（廣川）
- ・「2020 東京大会・日本博を契機とした障害者の文化芸術フェスティバル」オブザーバー（廣川）
- ・ニッセイ基礎研究所「障害者による文化芸術活動の推進に関する実態把握事業」専門研究委員（2021 年度・廣川）
- ・厚生労働省・障害者総合福祉推進事業の指定課題 8「障害福祉分野の行政職員等を対象とした障害者による文化芸術活動に関する研修ツールの研究有識者委員（廣川）
- ・株式会社プリコグバリアフリーコミュニケーション事業部外部評価委員（廣川）
- ・東京芸術劇場 社会共生チーム企画委員（廣川）

相談・協働

- ・聴覚障害者への観劇サポート相談は美月めぐみ氏（演劇結社ばっかりばっかり）、劇場バリアフリーに関する相談は DPI 日本会議と連携を取り対応していく
- ・演劇緊急支援プロジェクト (<https://engekikinkyushien.info/>)

運営関連

◆定例会（原則として第2週金曜日 19時～20時30分 オンライン）

6月11日 Zoom「2020年度の活動を振り返り、2021年度に向けた意見交換」 / 7月9日 Zoom「舞台手話通訳にまつわる色々を話しましょう」 / 8月13日 / 9月10日 / 10月8日 / 11月12日 / 12月10日 / 1月14日 / 2月11日 / 3月11日 / 4月8日 / 5月13日

※定例会の運営について、会員とともにもっと検討しながら開催していきたい。

◆企画

- ・第8回シンポジウム 2022年2月（予定）（日本財団・アーツカウンシル東京助成事業）
- ・舞台手話通訳者の養成（日本財団助成事業）…舞台手話通訳チーム、監修チームが動いている
- ・舞台鑑賞啓発ワークショップ、観劇ツアー（日本財団助成事業）
- ・演劇関係のオンライン配信における手話通訳、UDトークによる文字支援
- ・UDトーク練習会…UDトーク修正チームが自主的に勉強会を開催中

◆助成金

- ・公益財団法人日本財団…「舞台手話通訳者の養成」580万円

1) 舞台手話通訳者の実践研修

時期：2020年4月～2022年3月（計7回）

参加者：33名（2018年、2019年本事業を受講した者）

内容：実際の公演で手話通訳を行うため講師から稽古時に指導を受け公演後フィードバックをもらう。

2) 舞台鑑賞啓発ワークショップの開催

時期：2020年4月～2022年3月（計5回）

参加者：各20名（ろう者・聴者）

内容：舞台手話通訳をつけて観ることのポイントを学ぶ

3) シンポジウムの開催

時期：2021年2月、2022年2月（計2回）

場所：2021年はオンラインにて実施。2022年は東京会場とオンラインのハイブリッドにて実施予定

参加者：200名（演劇関係者、一般市民）

内容：舞台手話通訳の養成・研修の報告と今後の課題

- ・アーツカウンシル東京「平成30年度 東京芸術文化創造発信助成 第I期」（長期助成）…

「盲ろう者（視聴覚二重障害者）への観劇サポート支援」3年間で418万円

1年目 国内状況のリサーチ（アンケート、インタビュー）、情報収集、課題整理、シンポジウムでの報告

2年目 海外視察（フランス芸術祭におけるサポート状況視察）、ネットワーキング、シンポジウムでの報告

3年目 当初の計画であった「3年目 海外からの支援者招聘およびセミナー開催、シンポジウム・セミナーによる啓発」のうち、海外からの招聘事業はCOVID-19が沈静化しないため中止。1年目、2年目の活動や調査結果をもとに盲ろう者と観劇支援状況の分析と課題を文献にした報告書を作成し、第8回シンポジウムにて報告とする

◆情報保障コーディネート

舞台関連（アフタートーク含む）手話通訳、文字支援協力は引き続き行う

以上